



新羽中だより

令和4年1月13日(木)

1月号

横浜市立 新羽 中学校

☎542-1680 FAX 541-1038

環境を整えて

校長 荻野 弘

新年明けましておめでとうございます。本年も生徒たちが安心して明るく元気に豊かな学校生活が送れるように教職員一同、力を合わせて努めて参りますので、どうぞよろしく願います。

昨年は年明け早々の1都3県への緊急事態宣言の発出に始まり、夏休み明けからは1ヶ月間の分散登校となり、行事の延期など様々な計画が変更せざるを得ない状況となり、新型コロナウイルス感染症に振り回された年になってしまいました。10月以降は急激に感染者数は減少し、終息に向けて期待を持ちましたが、年末から再び急激に増加してしまいました。そんな厳しい状況のなかでしたが、東京オリパラでの選手の活躍、米メジャーリーグでの大谷選手の二刀流での大活躍とMVP選出、藤井聡太棋士の最年少での将棋タイトルの四冠獲得など明るいニュースもありました。今年もコロナ禍の状況は続くと思いますが、明るいニュースがたくさん報じられることを期待したいと思います。

さて、我が家もご多分に漏れず年末は普段できない部分のいわゆる大掃除をしました。私は主に外のフェンス、玄関の周りや庭の雑草取りなど外回りの担当でした。普段は掃くだけで済ませてしまうところですが、水を撒いてデッキブラシで洗いました。掃除をしなくても普段の生活には支障ありませんが、水で洗い流してきれいにしてみるとちょっとうれしくなって、気持ちが前向きになる感じがします。家の中もきれいに整い、人が来ても気持ちよく迎えられるようになりました。学校でも同じことが言えると思います。例えば、グラウンドがデコボコした荒れた状態でスポーツをやるより、ていねいに整備された状態の方が気持ちが良いし、やる気も違うと思います。また、入学式や卒業式には、教職員だけでなく、多くの生徒の皆さんに協力してもらい学校全体をきれいにします。環境を整えて、気持ち良く式に臨みたいと思っています。また、私は自分の机には出来るだけものを置かないようにしています。机上が整っていて広々とした状態の方が仕事がかどります。机の上に物があふれている人は、整理整頓をしてみてください。勉強の効率が上がるかもしれません。周りの環境を整えるということは自分のためだけでなく、相手や周囲の人への思いやりでもあると思います。何かする時などには、周りの環境を整えてから取り組んでみてください。

【ホームページ掲載のため生徒氏名はイニシャルにしています】

新生徒会本部役員より

昨年、11月26日(金)5,6校時に生徒会本部役員立会演説会・選挙がありました。昨年同様、コロナ禍の影響によりスタジオからテレビを通じての演説になってしまいましたが、どうして生徒会役員に立候補したのか、役員に選ばれたらどうしたいのかを候補者一人ひとりが自分の思いをしっかりと述べていました。また、推薦責任者も各候補者の人柄の良さや頼りになる点を積極的にアピールしてくれました。立候補してくれたみなさん

の勇気ある行動に感謝です。「生徒の生徒による生徒のための生徒会」をめざして、リーダーシップを発揮してがんばってください。期待しています。

生徒会長 M. M (2-3)

生徒会本部会長を務めさせていただく2年3組の望月 海音です。まず、みなさんのご声援ありがとうございました。私が本部役員として成し遂げたいことは、「積極的に行動する」ことです。私は今まで先輩方についていくことしかできませんでした。これからは会長として本部役員をまとめていきたいと思っています。私はこの学校をより良くしていきたいと思っています。そのためにはみなさんの意見を取り入れることも大事ですので、目安箱を活用してくださると嬉しいです。1年間よろしくお願いします。

副会長 K. A (2-3)

生徒会副会長になりました2年3組の近藤 杏樹です。選挙の際には、力をかかせてくださって本当にありがとうございました。まだ、わからないことばかりですが、1年かけて誰でも学校をより良くできる環境を整えていくために、目安箱をもっと活用していきたいです。これからいろいろな案を出して、試行錯誤しながら、みなさんが気軽に意見できる場を増やしていこうと考えています。これが上手くいけば、みなさんの発言する力がついてくるだろうし、何よりも自分のやりたい事を他の人と共有できる機会も増えるので、学校生活がより豊かで楽しいものになっていくと思います。私はそんな学校生活が送れる新羽中にしていきたいです。これから1年間どうぞよろしくお願いします。

副会長 N. K (1-3)

副会長になりました中澤 健太郎です。私は入学した時から生徒会活動に興味があったのですが、まだその時の自分にはできないと思っていました。ですが、家族や周りの友達から「お前ならしっかりできるよ」とか「やってみたいなら、チャレンジするべきだよ」と応援の言葉をいただいて、立候補しました。選挙の準備を始めた時から演説の本番まで緊張が止まりませんでした。いざ本番を迎えたら、不思議と緊張が薄くなり、そこからは自分の言葉に自信がつかしました。私は時々失敗してしまうこともありますが、周りの人に助けられて、今まで進んできました。皆さんも自分の考えを発表することを恐れずにどんどん発信して行ってほしいです。そのためにも私たちが皆さんの意見が言いやすい環境をつくっていくので応援よろしくお願いします。

本部役員 F. A (2-3)

この度、新生徒会書記・会計を務めることになりました普入 綾香です。選挙では応援していただきましてありがとうございました。今後は生徒会を通して、生徒会の一員として学校行事に携わっていくのはもちろん、公約で述べたように、挨拶を浸透させることにも力を入れていきたいです。挨拶の浸透は、私一人の力では成し遂げることはできません。みなさん一人ひとりの協力が必要です。そのためにみなさんにも挨拶に関心をもってください、ぜひこの公約を達成したいと考えています。例年に比べて、制限された活動がいくつかありますが、限られた中でも精一杯頑張ります。みなさん、ご協力よろしく申し上げます。

本部役員 K. Y (1-3)

始めは少し興味があって立候補したのですが、実際にやってみたら、決選投票になり、かなり緊張しましたが、やってみたいという気持ちがさらに強くなりました。特に心強かったのは、先輩や友人の存在でした。廊下ですれ違った時や教室でもたくさん声をかけてもらい勇気が湧きました。応援してくれたおかげで当選することができました。当選したことはもちろん嬉しかったのですが、それよりも自分の周りにこんなに温かい人がいると改めて気づけたことが一番嬉しかったです。僕はみなさんからもらったチャンスを目いっぱい

い生かしていこうと思います。僕の公約は、挨拶の習慣化や行事を通して学校生活を充実させていくことです。一つでも多く実行させてみなさんの役に立ちたいです。

本部役員 H. J (1-3)

この度、新たに生徒会本部役員になりました1年3組の平松 迅です。よろしくお願いします。私は生徒会本部役員として行いたいことがあり、今回立候補させていただきました。それはこの新羽中をより活発な明るい学校にすることです。しかし、自分一人ではこれを実現することは難しいです。なので、生徒会本部役員という立場から同じ役員の方々や同学年の仲間たち頼れる先輩方など多くの人と学年の枠を越えて協力し、より明るい新羽中学校を実現させていきたいです。まだまだ、わからないことばかりですが、少しでも新羽中学校に貢献できるよう活動していきますので、1年間よろしくお願いします。

栄光を讃える！！表彰

◇横浜市立中学校体育活動優秀生徒 K. S (3-1) F. K (3-2)

◇令和3年度 税の作文コンクール 入賞

S. K (3-1) N. R (3-2) F. K (3-2) M

◇港北区中学校バドミントン大会 個人戦の部 第3位 U. I (2-2)

◇第71回港北区「社会を明るくする運動」標語コンクール 優秀作品

『防犯は 地域の安全 守る盾』 A. R (3-2)

『地域の輪 ことばで伝える ありがとう』 A. E (3-3)

◇新羽連合町内会防犯部 防犯作文集「若い芽」

最優秀 O. M (2-2) 優秀 F. K (3-2) S

佳作 A. R (3-1) A. E (3-3) T. S (3-3) I. H (1-3)

◇全国青少年読書感動文コンクール 自由図書 横浜地区 優良賞 A. R (3-1)

「僕はせいたかさんになりたい」 三年 A. R

目の前を小さな何かは横切ったような気がする。すぐ近くで、コオロギかどんぐりがコツンと跳ねたような音がする。だけど、見回してもそこには何も無い。でも確かに何かがある気配がする。それは決して怖い事ではない。むしろ、ワクワクして、ドキドキして、どんな素敵な展開になるのかと、期待でいっぱいな気持ちになる。自分の身に、不思議で幸せな何かは起きている。それは、自分だけが感じる特別な秘密。だけどそんな事は滅多にない事だろうと思う。だがもしも、自分にそんな特別な幸せが感じられたら。いや、絶対に感じる。そんな風に僕は、この物語を読み進めて行くうちに、いつの間にか主人公になり切り、この世界に入り込んでしまった。

僕がコロボックルという言葉を知ったのは、これが初めてだった。コロボックルとは、昔から北海道に住む、アイヌに伝わる小人の妖精の事だ。その小人達と主人公のせいたかさんと呼ばれる男性との交流の物語だ。

母がまだ、夢見る少女の中学生だった頃にこれを読み、大変心に残った物語だそう。読む前は、少し女子っぽいかなと思ったが、読んでいくうちに、僕の目の前には、戦争前後の緑の多い村や町、山の景色が広がった。

子供達は、色々な年代同士で行動し遊んでいた。年上の子供は大将と呼ばれ、年下の子供はそこに付いて行き、仲間にしてもらう。大将の言い付けは絶対で、きちんと守る。今よりずっと上下関係が厳しいと感じた。でも、昔の子供は本当に遅い。車も人も通れないような山道に入り込み、崖を登る。そして自分だけの秘密の場所を見つけて楽しむとか、こっそりそこへ通うとか、今の僕達からは考えられないような遊びや探検をする。読み進めると、綺麗な水の流れる音や光り

輝く草木の匂いまで想像できる。僕の祖父母が若い頃生きた時代は、まさにこんなだったのかもしれない。今では見られなくなった蛍もきっとこの時代には、普通に見られたのかもしれないなどと想像すると、僕の今生きる世界は、人間の手によって、開発され尽くしてしまったように思う。

戦後に青春時代を過ごした作者は、自分自身を主人公のせいたかさんにして、物語を描いているように思う。コロボックルという小人を想像して描きながら、緑や自然を大切に、優しい気持ちや思いやりをもつ事が大切なのだと考えたのかもしれない。そして今後進んで行くであろう、開発の事も予想していたに違いないと思う。人間は、自分達の事ばかり優先で、自然や小さな生き物達の事はあまり考えず、破壊してばかりいるからだ。

僕は少し臆病で、引っ込み思案なところがある。自分から進んでリーダーになったり、友達を沢山作れるタイプではないと思う。でも、心から信頼し合える仲間がいるという事は素晴らしいと思うし、そんな仲間と出会いたいとも思っている。それは、必ずしも人間でなくても良いと思う事もある。人には言えないが、僕は小さい時からぬいぐるみが好きだ。今でも触ると心が落ち着く。文鳥も飼っている。僕めがけて飛んで来てくれる小さな友達だ。肩に乗られると、嫌な事があっても忘れてしまう。小人の友達なんて、今までに一度も想像した事はなかったが、僕はとても羨ましく思った。そんな秘密の友達がいれば、僕はそっとポケットに入れて一緒に出掛けるだろう。僕はせいたかさんになりたいと思った。絶対に苛めたり、お金儲けのために、見せ物なんかにはしない。

主人公のせいたかさんは、子供の頃に見つけた秘密の場所で小人達に出会う。そして大人になってからその土地を買い、家を建てる。小人達と暮らし、守って行くためだ。もう一人、せいたかさんの仲間であり、協力者のおちび先生と呼ばれる女性がいる。偶然にも、せいたかさんが最初に小人の山へ来て、小人を見た時そこにて、同じ様に小人を見た小さな女の子だ。二人は大人になってから、再びこの山で再会する。そして仲間になった。僕は、二人はのちに結婚すると思う。

小人達は、絶対に二人の前でしか姿を現さない。せいたかさんとおちび先生、そして小人達が協力し合って、小人達の生活を人間の開発から守って行く、その展開がとても楽しいのだ。

名前を呼べば、どこからともなく現れる手の平に乗るくらいの小さな友。もし僕にこんな友がいて信頼し合えたら、毎日が心強く、積極的に生きられるのではないかと思う。

僕達のように若い時に、良い物語に出会うと、一生心に宝物として残ると思う。そしていつか、僕に家族ができ子供が生まれたら、僕は「この物語を読んでごらん。」と言いたいと思う。

* 読んだ本 佐藤さとる 『だれも知らない小さな国』

東京 2020 パラリンピック 車いすバスケット 土田真由美選手来校

昨年の12月20日(水)の6校時、東京2020パラリンピックの車椅子バスケットボール競技で活躍した土田真由美選手が来校し、講演会を行いました。本来ならば、体育館で競技のデモンストラーションや生徒による体験などを行い、講演していただくというのが一般的なプログラムだと思いますが、体育館が改築中で各教室からのテレビでの視聴という方法でしたが、快く講演を引き受けていただき、「好きな食べ物は何ですか？」から始まる生徒会新本部役員の質問にひとつひとつ丁寧に答えていただきながら、自身の今までの様々な経験や思いを語っていただきました。

土田選手のお話を伺っていて、一番印象に残っているのは、「苦しいことがあってもお互いに支えあって乗り越えていく」という言葉でした。辛い時、苦しい時には、自分一人だけではなく、家族、仲間、周囲の人の「支え」が大切であることを改めて感じました。とても貴重なお話をうかがうことができました。ありがとうございました。

